

校長室
だよ！

おみっ子

通信

令和6年11月1日

麻績小学校

No. 8



思い合いの心で みんなが笑顔！

秋も深まり、朝夕は寒く感じる日が多くなってきました。10月は様々な交流活動が行われ、保小中の連携や一貫教育の成果が感じられる場面がたくさんありました。28日に行われた小中の特別支援学級の交流会もその一つで、子どもたちが作ったハロウィーンのジャックオランタンは、昇降口で全校児童を楽しませてくれています。



ひじり学級となかよし学級の子が作りました！

おみっこミュージックフェスティバル ～保小中合同音楽会～



保育園の子どもたちの発表を觀賞する小中学生、保護者、来賓

金管バンドの演奏で会場が一つに

昨年度初めて行われ、2回目となる「おみっこミュージックフェスティバル」が今年度は本校を会場にして開催されました。麻績保育園の園児、麻績小学校の児童、筑北中学校の生徒が一堂に会し、それぞれの発達段階に応じた発表をしました。園児は園児らしく、元気に可愛らしく歌って踊り、中学生は中学生らしく、レベルの高い合唱を聴かせてくれました。小学生は、学年ごとに様々な工夫や気持ちのこもった合唱や合奏などをし、各学年の歩みが表現された素晴らしい発表をしてくれました。お互いの発表を聴き合うことで、保小中のつながりや成長が感じられる音楽会となりました。

小中交流給食 ～子どもたちのつながいと思いやい～



「ハンカチ落とし」や「マジカルバナナ」を楽しむ

小1から中3まで、みんなそろっていただきます！

小学校と中学校の交流給食が行われました。「マジカルバナナ（〇〇と言ったら△△、とりズムに乗って順番に言うゲーム）」をやっていた班がいくつかありましたが、中学生は次の小学生が低学年だと、△△の部分易しい言葉にして、ゲームを続けやすいように気遣っていました。言葉に詰まってしまってもじっくり待ってあげ、困っていたらヒントを出すなど、みんなでゲームを楽しむために互いを思いやる優しさにあふれていました。交流活動の後の給食では、小さな子のお手伝いを中学生がしてくれたり、小中の学校生活の違いについて話しながら食べたりと、心の通い合うひとときとなりました。

おみっこオンステージ ～子どもが主体的に表現する場～



出演者募集のポスター

校長講話では、子どもたちに（職員にも）「『問い』と『願い』を大切にしてほしい」「『問い』に対する答えを見つけたり、『願い』を実現させたりする経験をしてほしい」と話してきました。

ある日、気がつくと廊下に左のようなポスターが貼ってありました。6年生が中心になって、子どもたちの「こんなことをやってみたい」「みんなに私をみてほしい」「得意なこと、できることを発表したい」などの『願いが叶う場所づくり』が始まりました。（もちろん教頭先生をはじめ、複数の職員の協力があったのですが）ほとんど子どもたちが自分たちで相談や準備をして、この「おみっこオンステージ」を実現させました。

休み時間の体育館ですから、見たい人だけ自由に集まればよい、ということでしたが、当日は多くの子どもたちや職員が集まりました。6年生の司会の子が、とても上手に進行をして、下の写真にあるように、3つの発表がありました。



ダンスクラブのステージやピアノ演奏、お手玉の披露もありました 大勢の観客で盛り上がりました

6年生だけでなく、4年生も発表してくれました。これからも第二回、第三回と続く予定なので、様々な学年の子どもたちが発表したり、（中核活動や教科学習など）学級でやっていることの発表の場となったりと、いろいろな可能性や発展が考えられ、ワクワクしています。

学校からのお知らせ

○上記の「おみっこオンステージ」ですが、第二回目が11月6日（水）10：30ころ、体育館で開催されます。子どもたち（もしかしたら職員も）の生き生きと発表する姿をご覧になりたい保護者の方は、ぜひご来校ください。これからも月に1回ぐらいのペースで開催していく予定ですので、もし「私も発表したい」という方がいましたら、ご出演いただくのも可能かと思えます。出演希望も含め、何かお問い合わせ等ありましたら、本校教頭までご連絡ください。

○7月の中旬より本校に勤務していた、鈴木迪世（すずきみちよ）先生ですが、産育休の補充講師として、10月22日より千曲市立屋代中学校へ転勤することとなりました。短い間でしたが、お世話になりました。